

2017年9月期 連結決算説明資料 (2016年10月-2017年9月)

株式会社FPG

(code:7148)

東証1部



2017年10月31日

業績の総括

- 決算ハイライト P3

事業概況

- タックス・リース・アレンジメント事業の状況 P5
- 組成金額の推移 P6
- 日本型オペレーティングリースについて P7
- トピックス(1) – JOLの組成・販売の取り組み強化 P8
- その他事業の状況 P9
- トピックス(2) – 保険仲立人事業は順調に成長 P10
- トピックス(3) – 不動産関連事業の業容拡大 P11
- 販売ネットワークの状況 P12
- 2017年9月期 配当予想 P13
- 投資者にとって投資魅力の高い会社 P14

2018年9月期通期業績予想、中期的な経営戦略

- 2018年9月期 通期業績予想 P16
- 中期的な経営戦略について P17

参考データ

- 損益計算書の概要 P19
- 貸借対照表の概要 P20
- 主な経営指標の推移 P21

業績の総括



◆ 8期連続の2桁増収増益で過去最高の売上高、利益を達成

- タックス・リース・アレンジメント事業が引き続き業績の牽引役となる一方、保険仲立人事業や不動産関連事業などその他事業の売上高が前期比14.4%増と伸長し、業績拡大に貢献
- 営業利益率は63.7%と高い収益性を堅持

(単位：億円)

	2015年 9月期	2016年9月期		2017年9月期			
			対売上比	対前期増減		対売上比	対前期増減
売上高	153.1	188.9	100.0%	23.4%	210.7	100.0%	11.5%
タックス・リース・ アレンジメント事業	141.2	170.5	90.3%	20.7%	189.6	90.0%	11.2%
その他	11.8	18.3	9.7%	55.2%	21.0	10.0%	14.4%
売上総利益	133.7	163.5	86.6%	22.3%	184.9	87.8%	13.1%
販売費・一般管理費	32.9	45.0	23.8%	36.8%	50.7	24.1%	12.8%
営業利益	100.8	118.5	62.7%	17.6%	134.1	63.7%	13.2%
経常利益	100.5	119.0	63.0%	18.4%	137.1	65.1%	15.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	63.4	76.4	40.5%	20.5%	95.8	45.5%	25.3%

事業概況



■ タックス・リース・アレンジメント事業の状況

◆ 売上高、出資金販売額ともに過去最高を更新し、順調に拡大

- 投資家の強い需要を背景に、売上高は前期比11.2%増の189億円、出資金販売額は前期比5.8%増の1,157億円となり、過去最高を更新

- 採算性の高い案件を中心に組成・販売した結果、手数料率は17.1%と高水準

(単位：億円)

		2015年9月期		2016年9月期		2017年9月期		対前期 増減
タックス・リース・ アレンジメント事業 売上高		141.2		170.5		189.6		11.2%
出資金 販売額		841.7	構成比	1,094.1	構成比	1,157.4	構成比	5.8%
	航空機	235.0	27.9%	548.9	50.2%	592.3	51.2%	7.9%
	船舶	439.5	52.2%	300.4	27.5%	432.1	37.3%	43.8%
	コンテナ	167.1	19.9%	244.7	22.4%	132.9	11.5%	▲45.7%
手数料率 ※ (売上高／出資金販売額)		16.8%		16.1%		17.1%		-
組成金額		2,973.4		3,788.0		2,761.6		▲27.1%

※手数料率については、フルエクイティ案件（借入金を調達せず、すべて投資家からの出資金で調達する案件）を除く。

■ 組成金額の推移

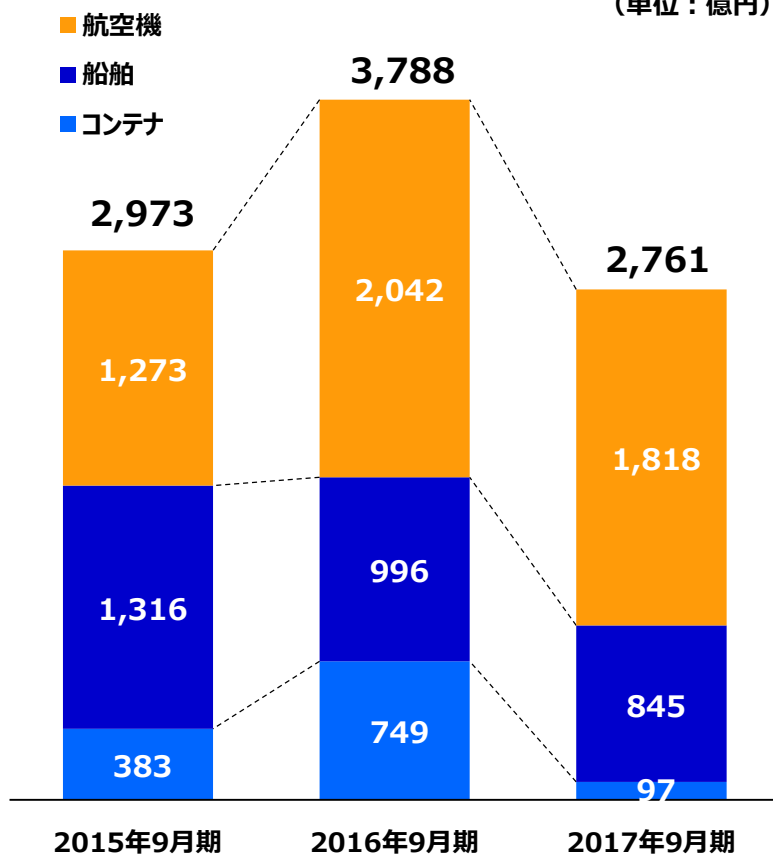
- 新規借入人の開拓およびシリーズ案件[※]の獲得により、航空機案件は前期並みを確保

※ シリーズ案件とは、同一借入人による連続する複数案件のこと

- コンテナ案件は、借入人の経営統合手続きなど特殊要因により、引き渡し案件数が一時的に減少

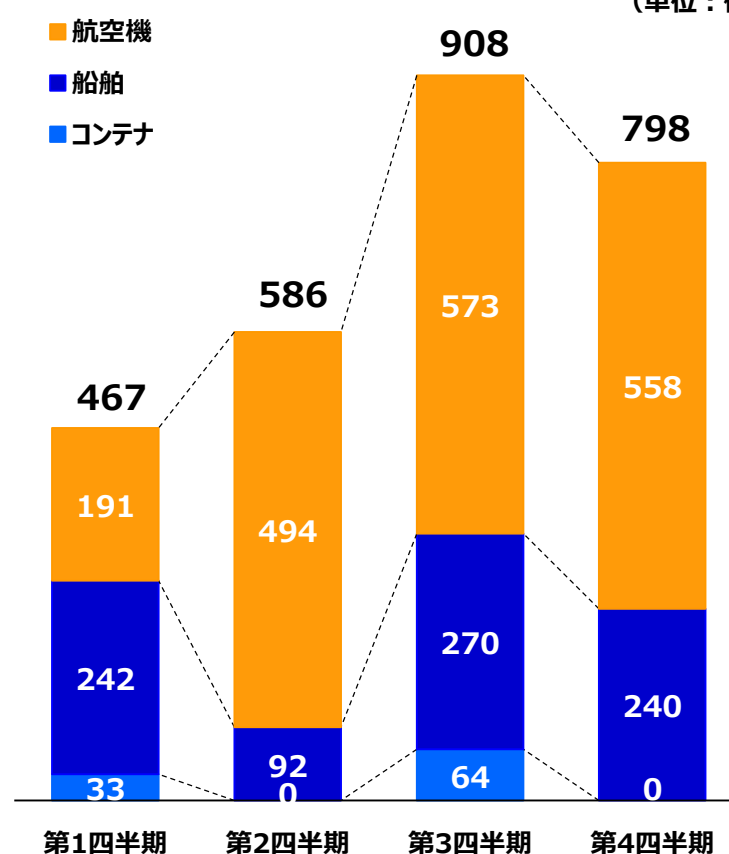
【決算期ベース】

(単位：億円)



【2017年9月期 四半期ベース】

(単位：億円)



■ 日本型オペレーティングリースについて

- 日本型オペレーティングリースには、賃借人に購入選択権が付与されていない取引と付与された取引があるが、一般的に前者をJOL^{※1}、後者をJOLCO^{※2}と呼んでいる。

案件	JOL	JOLCO
購入選択権	なし	あり
リース期間満了後	市場での売却または再リースによる延長 → 売却金額は市場動向次第であり リマーケティング能力が不可欠	賃借人は購入選択権を行使してリース 物件を買い取ることができる → リース開始時に購入金額は決定 されている → 購入選択権が行使されない場合 市場での売却

※1 JOLは、日本型オペレーティングリースの英語表記の頭文字をとった略称（Japanese Operating Lease）

※2 JOLCOは、JOL with call optionの略称

◆ FPG Amentumと連携し、JOLの組成・販売を強化

- 当社がアレンジしている案件の多くを占めるJOLCOに加えて、FPG Amentumと資本業務提携を開始して以来、同社のリマーケティング能力を活用し、航空機リース案件においてJOLを積極的に組成

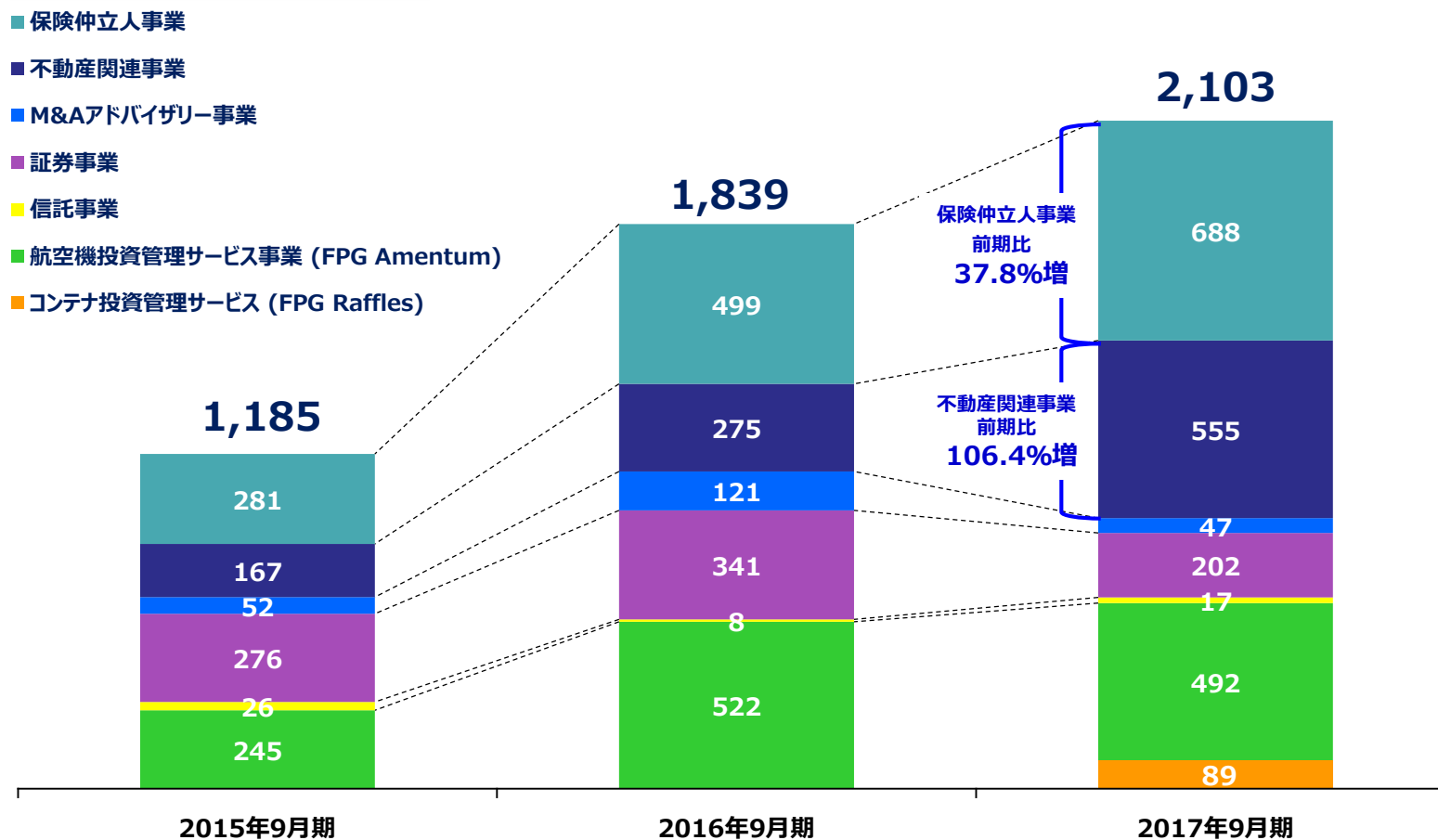
- 今期におけるJOLの取り組み
 1. 信託機能を活用した航空機JOL案件の組成・販売を開始
 - グループ内に信託会社、航空機投資管理サービス会社を持つ、競合他社にない当社の強みを活かし、本邦初の信託機能を活用した航空機リース事業案件の提供を開始

 2. 航空機JOL案件の大型受注を実現
 - 割安な価格で航空機11機を大量受注

◆ 保険仲立人事業および不動産関連事業が成長し、その他事業の売上拡大を牽引

その他事業売上高

(単位：百万円)

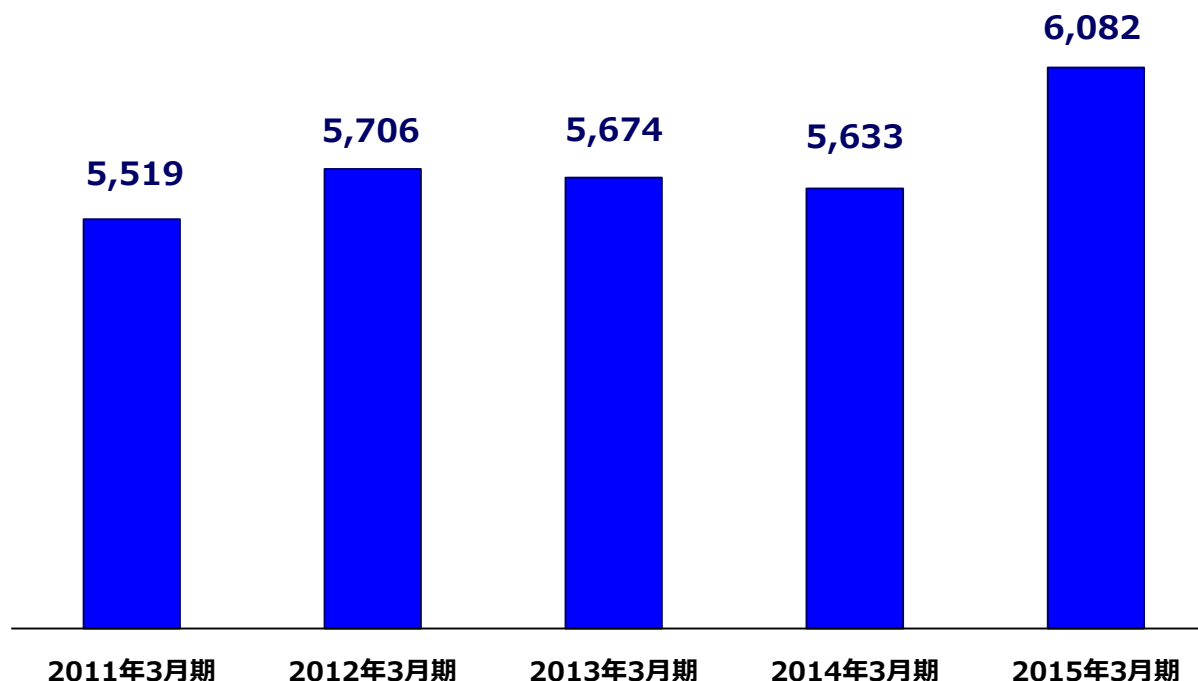


◆ 法人向け生命保険は有望市場、人材投入で売上拡大

- 法人向け生命保険市場は6,000億円を超え、当社として拡大余地が見込める市場
- 保険専門担当者の全支店配置に向けて人員を増強すると共に、需要の掘り起こしを推進したことで、売上は大きく伸長

法人向け生命保険市場規模の推移

(単位：億円)



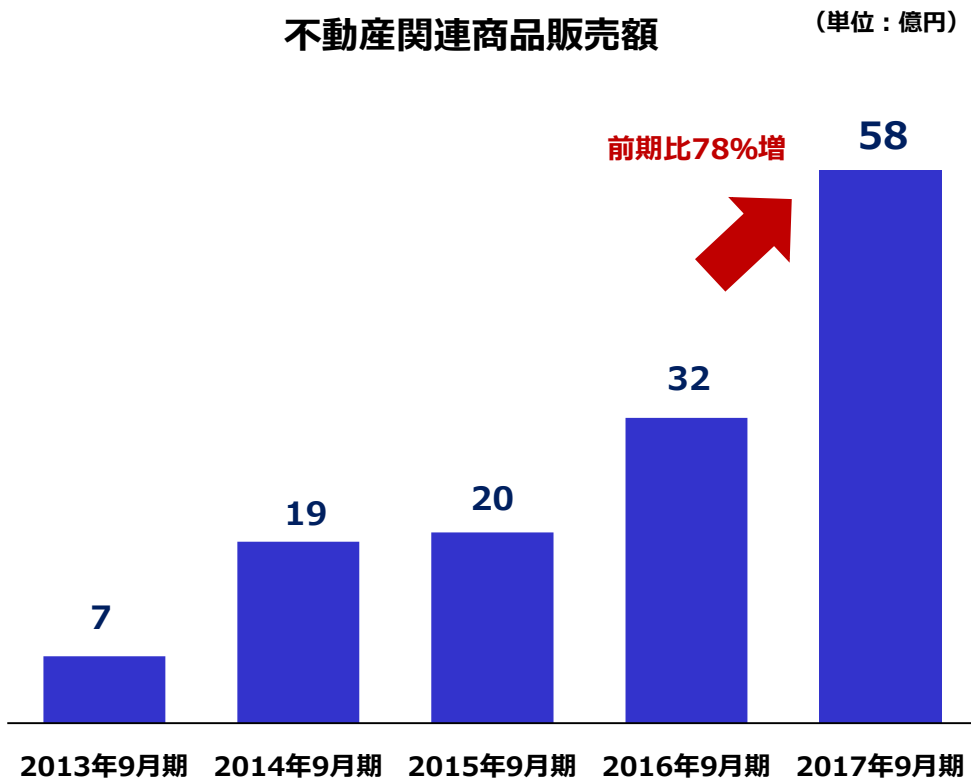
出所：矢野経済研究所による法人向け生命保険市場に関する調査。新規契約の年換算保険料で算出

トピックス(3) –不動産関連事業の業容拡大

◆ 都内一等地の順調な仕入れにより、組成は拡大

◆ ラインナップの拡充に伴い、販売額は大幅増

- 会計事務所及び金融機関による販売ネットワークに続く“第三の営業チャンネル”の構築に取り組む
- リスティング広告などインターネットを活用したWEBマーケティングに着手



Premium Asset Series FPGリンクス 所在地

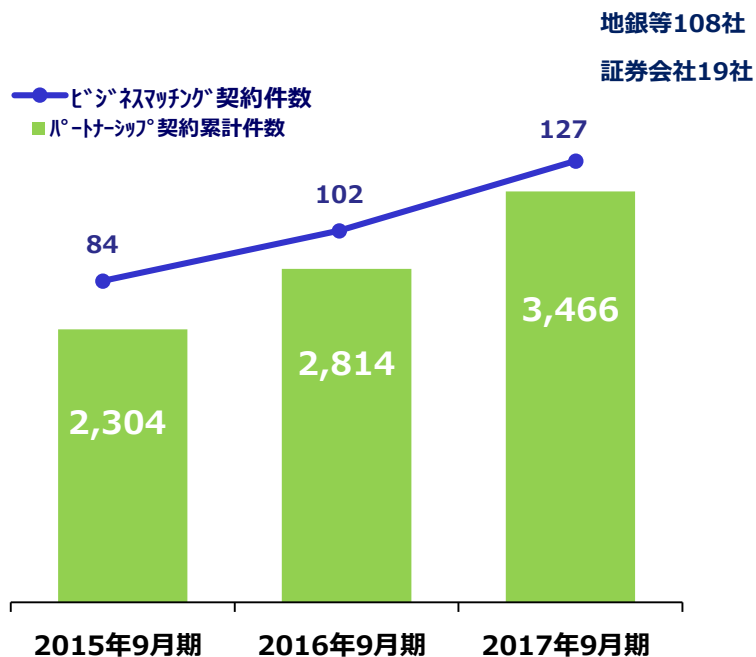


(C) 2017ZENRIN (Z05E-146)

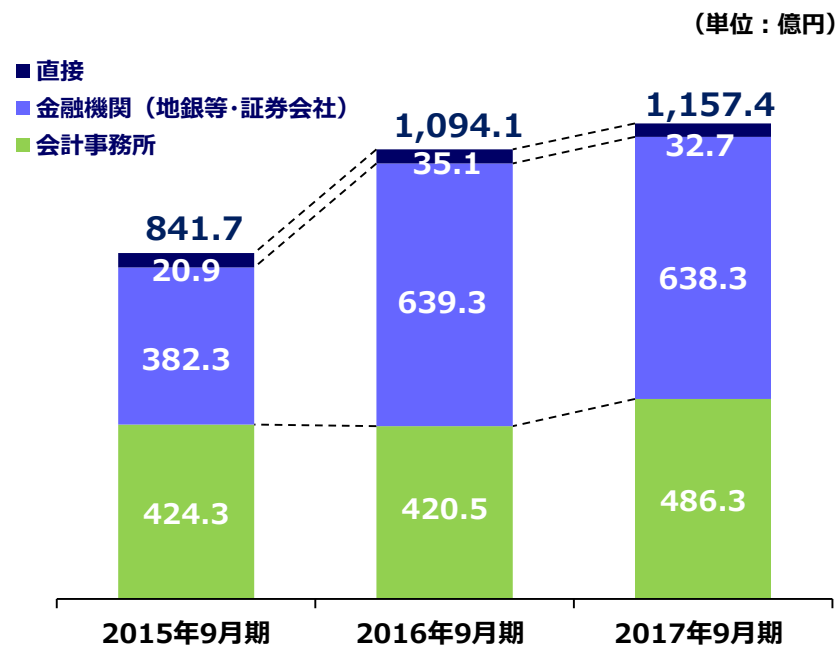
◆ 全国の会計事務所および金融機関との提携拡大

- 販売ネットワークは順調に拡大。会計事務所の提携先は前期比652件増の3,466件、地銀を中心とした金融機関の提携先は同25件増の127件
- 会計事務所経由の出資金販売額は、前期比15.6%増の486.3億円

会計事務所とのパートナーシップ契約件数と
金融機関とのビジネスマッチング契約件数



ネットワーク別出資金販売額の推移



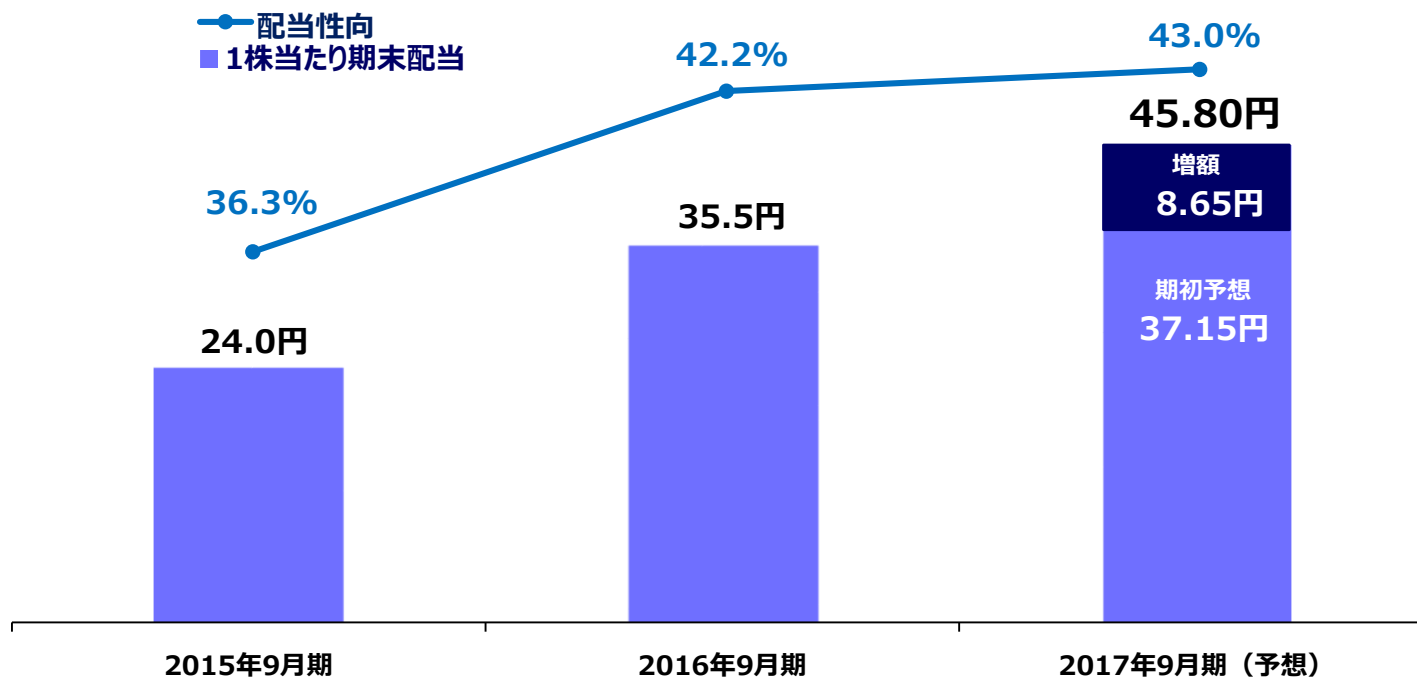
◆ 期末配当は期初予想の37.15円から45.80円に増額修正

■ 利益配分の基本方針

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主への利益還元を重視し、安定した配当を継続して実施

- 1株当たり期末配当金は、好調な業績を踏まえて、期初予想の37.15円から45.80円に増額し、この結果、連結配当性向は43.0%

- 株主の皆様に対する利益還元をより明確にするため、2018年9月期以降の連結配当性向の目標をこれまでの「概ね30%以上」から「概ね40%以上」に引き上げを決定



■ 投資者にとって投資魅力の高い会社

JPX日経インデックス400 採用銘柄

JPX日経中小型株指数 採用銘柄

グローバルな投資基準

- 資本効率の活用
- 投資者を意識した経営観点
等の条件を満たした

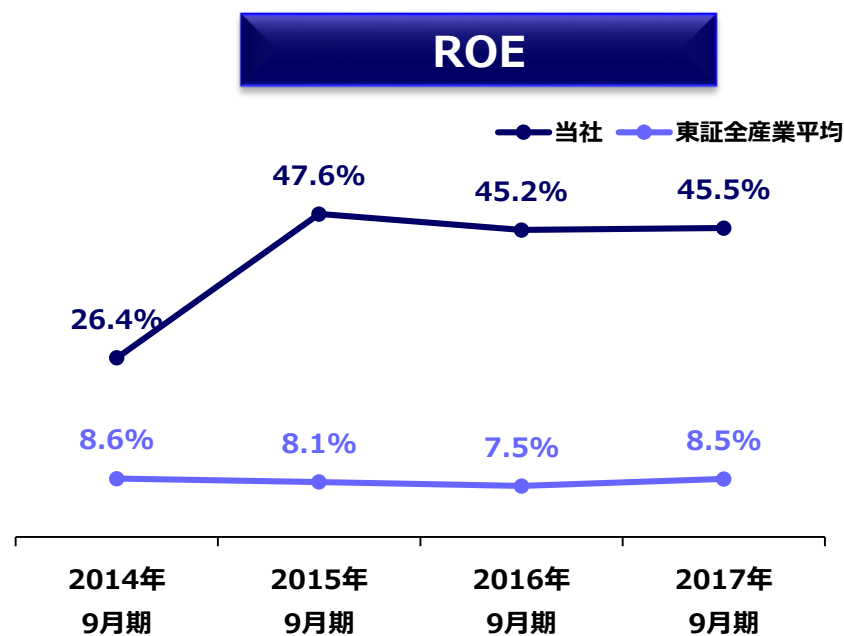
「投資者にとって投資魅力の高い会社」
で構成される株価指数



- ◆ 高い資本効率
 - ・40%を超える高いROE
- ◆ 透明性の高いガバナンス体制
 - ・取締役5名中3名が独立社外取締役
 - ・監査役3名全員が独立社外監査役
- ◆ 決算情報の英文資料開示
 - ・TDnet（英文資料配信サービス）を通じた開示

第6回企業価値向上表彰の
表彰候補 50社に選出

資本の効率運用を目指し、資本コスト
をはじめとする投資者の視点を深く組み
込んだ経営の実践を通じて、高い企業
価値の向上を実現している上場会社を
全上場企業約3,500社の中から表彰



(出所) 日本取引所グループ「決算短信集計結果」をもとに当社作成

2018年9月期 通期業績予想 中期的な経営戦略



■ 2018年9月期 通期業績予想

◆ 9期連続増収増益を目指す

2018年9月期はタックス・リース・アレンジメント事業において業界No.1の地位をより強固にするとともに、その他事業をさらに拡大

(単位：億円)

	2017年9月期 実績	2018年9月期 予想	対前期 増減
売上高	210.7	237.0	12.5%
タックス・リース・ アレンジメント事業	189.6	198.5	4.6%
その他	21.0	38.5	83.1%
営業利益	134.1	147.5	10.0%
経常利益	137.1	149.2	8.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	95.8	103.1	7.6%
年間1株当たり配当金（円）	45.80	49.25	7.5%
出資金販売額	1,157.4	1,572.2	35.8%
組成金額	2,761.6	3,874.6	40.3%

※2017年9月期実績の年間1株当たり配当金は、2017年12月19日開催予定の株主総会に付議する予定

■ 中期的な経営戦略について

■ JOL事業を業界No.1に

- ・JOLCOに続き、JOLの取扱高においても業界No.1を目指す

■ 保険、不動産、M&Aのコア事業化

- ・経営資源を大胆に投入し、その他事業の成長を加速

■ 預かり資産を重視した事業展開へのアプローチ

- ・今後増加する償還金の着実な取り込み

■ ITを活用した営業の推進

- ・Webマーケティングの拡大⇒第三の営業チャネルの構築

参考データ



■ 損益計算書の概要

(億円)

	2016年9月期	2017年9月期	対前期増減
売上高	188.9	210.7	11.5%
① 売上原価	25.3	25.7	1.5%
売上総利益	163.5	184.9	13.1%
販売管理費	45.0	50.7	12.8%
営業利益	118.5	134.1	13.2%
② 営業外収益	10.2	12.1	19.2%
③ 営業外費用	9.6	9.2	▲4.7%
経常利益	119.0	137.1	15.2%
税引前純利益	117.3	137.0	16.8%
法人税等合計	40.5	41.2	1.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	76.4	95.8	25.3%

- ①売上原価：顧客紹介者への支払手数料、タックス・リース・アレンジメント事業の案件組成コストを含む
 ②営業外収益：一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息を受取利息として含む
 ③営業外費用：資金調達に伴う支払利息を含む

■ 貸借対照表の概要

(億円)

資産	2016年9月期	2017年9月期	対前期増減
流動資産	783.3	792.1	8.7
① 商品出資金	571.2	190.3	▲380.9
② 金銭の信託（組成用航空機）	-	313.4	313.4
③ 組成用コンテナ	-	20.0	20.0
組成用不動産	24.6	97.5	72.9
固定資産	28.6	35.8	7.2
資産合計	812.2	827.9	15.7
負債	2016年9月期	2017年9月期	対前期増減
流動負債	592.4	483.4	▲108.9
短期借入金等	380.9	372.6	▲8.2
④ 前受金	105.7	38.3	▲67.4
固定負債	41.7	88.3	46.6
⑤ 長期借入金等	39.3	85.8	46.4
負債合計	634.1	571.7	▲62.3
純資産合計	178.0	256.2	78.1
負債純資産合計	812.2	827.9	15.7

- ①商品出資金：タックス・リース・アレンジメント事業で当社が投資家に販売するまで一時的に立替えている出資金
- ②金銭の信託（組成用航空機）：航空機リース事業に係る信託受益権の在庫
- ③組成用コンテナ：コンテナリース事業の組成用在庫
- ④前受金：商品出資金および信託受益権に係る手数料の前受金
- ⑤長短借入金等：商品出資金および組成用不動産の取得のための資金調達

■ 主な経営指標の推移

決算年月		2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期	2017年 9月期
売上高	(億円)	40.1	62.5	153.1	188.9	210.7
経常利益	(億円)	19.6	32.6	100.5	119.0	137.1
親会社株主に帰属する当期純利益	(億円)	11.8	19.8	63.4	76.4	95.8
資本金	(億円)	8.5	30.7	30.8	30.9	30.9
発行済株式総数	(千株)	26,017	31,271	94,299	94,461	94,623
純資産額	(億円)	44.8	105.4	161.7	178.0	256.2
総資産額	(億円)	202.4	440.1	690.8	812.2	827.9
1株当たり純資産額	(円)	57.52	112.46	170.65	196.86	270.60
1株当たり配当額	(円)	5.45	8.67	24.50	35.50	45.80
1株当たり当期純利益	(円)	15.53	24.07	67.52	84.05	106.44
ROE	(%)	33.7	26.4	47.6	45.2	45.5
自己資本比率	(%)	22.2	24.0	23.3	21.8	29.5
配当性向	(%)	35.1	36.0	36.3	42.2	43.0
営業活動によるCF	(億円)	▲89.5	▲130.2	▲32.5	▲16.9	30.3
投資活動によるCF	(億円)	▲4.2	▲7.3	▲14.4	▲4.1	▲0.25
財務活動によるCF	(億円)	112.3	140.0	78.8	35.7	7.4
現金及び現金同等物の期末残高	(億円)	38.4	40.9	73.8	86.7	126.0
従業員数	(人)	81	100	157	196	227

(注) 2013年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2013年9月期からは連結の数値(従業員数含む)を記載。一株当たり情報に関しては株式分割の影響を調整。2016年9月期より当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を記載。

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社FPG（以下、弊社）の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。
- これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断した予測です。
- 本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

【本資料及び当社 I R に関するお問い合わせ先】

株式会社FPG 経営企画部

TEL (03) 5288-5691

URL <http://www.fpg.jp>